

北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動

【11月の作業内容〈19日(土)9時～正午〉】雨天のため作業中止。参加者のみで観察会実施。

今年を振り返って

今年も残すところあと半月ほど。そこで本紙掲載記事より、この1年の岡崎市における自然環境にかかわる主な出来事やおかざき湿地保護の会の活動の一部などを拾い上げてみました。

おおだの森初日の出を見る会(1月)探鳥会(おかざき自然体験の森 1月)千万町茅葺屋敷屋根の葺き替え(2～3月)ホタル育生者養成講座(2～10月)2011環境フェア(3月)菅生川水辺マップ発行(3月)湿地保護の会総会、役員改選、三浦重光先生〈おかざき自然体験の森〉のお話(3月)湿地保護の会より東日本大震災に対し義援金寄付(3月)おおだの森花見会(4月)湿地保護の会ほかギフチョウ監視活動(4月)北山湿地観察会(4月 講師:湿地保護の会 雨天中止)日近の里鯉のぼり(4～5月)探鳥会(中央総合公園 5月)北山湿地観察会(6月)森の駅各所でホタル観賞会(6月)岡崎市が2010年環境首

都コンテストで総合4位に(5月)安城野草会が北山湿地視察(5月)湿地保護の会による北山湿地ヒナノシヤクジョウ分布調査(7～8月)おかざき大昆虫展(7～8月)湿地保護の会湿地視察会(面の木植物群落 8月)森の昆虫教室(8月)環境フレンドリーパーク(8月)湿地サミット参加(武豊町 8月)岡崎市ホテル学校(仮称)整備概要公表(8月)森づくり講演会(ぬかた会館 9月)自然保護活動者養成講座(9～10月)西三河生態系フォーラム参加(豊田市 10月)北山湿地観察会(10月 講師:湿地保護の会)鳥川ホテルの里山歩き(10月)生物多様性おかざき戦略(案)に対するパブリックコメント募集(10～11月)三河中核3市〈岡崎・豊田・豊橋〉湿地保全団体交流会参加(11月)探鳥会(菅生川河岸 11月)くらがり溪谷もみじ祭(11～12月)

湿地保全について意見交換

岡崎市自然共生課は11月26日(土)午前、福社会館において、初めての試みとなる三河中核3市湿地保全団体交流会を開催しました。三河地方の中核市

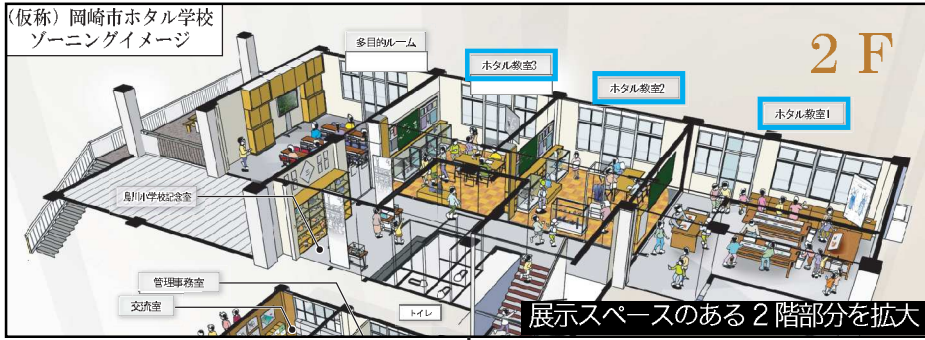


—岡崎・豊田・豊橋—にはいずれも湿地があり、それぞれの保全団体が工夫を凝らしながら、その湿地に適合した保全活動を進めています。そうした過程でぶつかった疑問や課題、あるいは情報などを共有しあうことにより、解決策を見つけたり今後の作業のヒントにしたりなど、保全活動をいつそう発展させ活性化を図ることが目的です。参加団体は、おかざき湿地保護の会、岡崎市自然共生課、豊田市自然愛護協会、矢並湿地保存会、上高湿地を守る会、豊田市環境政策課、保護の会(葦毛湿原)、豊橋市美術博物館。

まず湿地ごとに概況や特徴、活動状況などを報告した後、意見交換会を設け、日頃感じている疑問を投げかけたり、意見を求めたり、逆に意見を主張したりと、初めてにしてはなかなか盛況でした。主なところでは、後継者の育生、盗掘問題、動植物のデータ管理、市民に対する啓蒙活動、観察路のあり方、などなど。それぞれ独自の活動をしていながら、意外にも課題などは共通していることがわかりました。

今後も機会があれば、こうした交流の場を持ちたいと考えています。

《初日の出を見る会》森の駅のひとつ「おおだの森」(夏山町) 山頂より、初日の出を見ないと1年が始まらない!?◆1月1日6時にふもとの鬼沢八幡社集合。山頂まで登ります。甘酒・コーヒーのサービスあり◆雨天中止◆山頂までは20分あまり。日の出時間は7時5分頃。※水とみどりの森の駅1月のプログラムは同ホームページまたは市政だより12月15日号をチェック。



鳥たち」を開催中です。岡崎市内では普通に見られるものから絶滅危惧種まで、120種ほどの野鳥が確認されているそうです。これらの中から主におかざき自然体験の森で観察できる野鳥を絵画や写真で紹介します。またクイズやペーパークラフトコーナーを設け、楽しみながら野鳥について学ぶことができます。【期間】1月29日(日)まで※月曜定休、12月29日～1月3日休業【開館時間】8時30分～17時15分【問い合わせ】森の総合駅まで(☎82-2511)

なぜか冬なのにモチツツジが見頃に(12月3日 小呂町)

【問い合わせ】森の総合駅まで(☎82-2511)

ホテル学校の展示品募集!

旧鳥川小学校(鳥川町)を改修して平成24年4月オープンを目指し整備が進む「岡崎市ホテル学校(仮称)」。

ホテルと人との関わりの歴史を紹介するスペースに展示するもので、募集期間は平成24年1月20日まで。資料の提供方法や展示品の管理など、詳細は同課まで問い合わせください。

【募集内容】①戦前の「蛍狩り電車」・戦後の「蛍祭り」・ホテル保護活動それぞれの写真②過去に製作された歴史を感じさせる蛍祭り等の関連グッズ(うちわ、のれん、法被、浴衣、バッジ、腕章、冊子、ちょうちん、看板、お札、お面、ガイドブック、写真集、ちらし、など)

身近な野鳥を紹介

水とみどりの森の駅のひとつ「森の総合駅」(榎山町)では現在、企画展「あなたの身近な野

水辺の野鳥とふれ合い



自然共生課は11月27日(日)、明大寺町の乙川(菅生川)左岸で探鳥会を開催しました。

愛鳥家ら22人が参加し、岡崎野鳥の会の指導の下、27種類の野鳥を確認できました。コガモ、ジョウビタキ、ユリカモメなどのこの時期らしい冬鳥、おなじみのカワセミやハクセキレイなどのほか、オオタカやシロチドリといった希少種にも出会えました。

きたやま歳時記⑬

北進続けるムラサキツバメ

オスの翅表は暗紫色で光沢をそなえ、メスは前翅中央より翅底にかけ鮮やかな紫藍色部があり有尾を持つ、きれいな蝶。

九州、四国南半では普通種、京都、滋賀では局地的に稀種でした。しかし近年、近畿地方でも普通に見られるようになり、さらに東海地方をへて関東地方にも進出して来

ムラサキツバメ♀



ムラサキツバメ♂

湿地保護の会会員の山本、柵木、桑原の3名は幼虫の食樹であるマテバシイのひこばえ新葉に、蟻やアブラムシと同居しているかのように生育している卵と幼虫を発見しました。

幼虫はある時期から造巢性がみられ、葉表を外側に巻いた筒状の巣を作ります。終齢になった幼虫は食樹の根元付近の枯葉をフトンのようにして蛹となります。蛹は10日ほどで成虫となります。(文と写真/おかざき湿地保護の会 桑原邦昭)



ムラサキツバメ蛹